

令和 6年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	下水道施設課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-842-5421
	取組方針	災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	(企業会計) 浸水対策施設整備事業(下水道施設課分)			

【事業全体概要】

事業概要	安全で安心して暮らし続けられるまちを実現するため、下水道事業計画区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管きよの計画的な整備を行う。 中心市街地において、西部バイパス幹線、日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても宮川幹線を始めとする雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行うなど、計画的に施設整備を行う。				
年度概要	日新ポンプ場建設工事				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法 下水道法

【事業の目的】

対象(何を)	雨水対策整備対象区域
意図(どのような状態にしたいか)	雨水対策整備対象区域内において、浸水被害の軽減・解消を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
単年度雨水管きよ整備延長	m	0	0	191.2	72	1,337

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		雨水対策整備率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	49 48.8	49
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	雨水排水施設等の整備により、浸水被害の軽減・解消を図る。	(目標達成度) 99.6%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	中心市街地の浸水対策として、雨水ポンプ場の整備を推進した。	(目標達成度)	(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	494,013	256,850	534,058	723,305
(事業費)	[千円]	486,156	248,879	526,000	715,247
(職員人件費)	[千円]	7,857	7,971	8,058	8,058

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	日新ポンプ場整備	施設整備事業費 526,000千円	総額	526,000	
			特定財源	国	263,000
				県	0
				市債	263,000
				他	0
一般財源	0				
令和 7 年度	日新ポンプ場建設工事	施設整備事業費 715,247千円	総額	715,247	
			特定財源	国	250,000
				県	0
				市債	250,000
				他	0
一般財源	215,247				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

市内の浸水対策に資するため、日新ポンプ場の供用開始に向けて、建設工事を進めていく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	下水道施設課
	施策	ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-842-5421
	取組方針	再生可能エネルギーの導入拡大		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	(企業会計) 東部下水处理場バイオマス発電事業			

【事業全体概要】

事業概要	東部下水处理場において、下水汚泥の処理過程で発生するバイオマスを燃料として発電を行い、民間電力事業者に売却することで、資源・エネルギーの有効利用及び健全で持続可能な事業経営に寄与する。			
年度概要	バイオマスの運転維持管理			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象(何を)	バイオマス発電設備
意図(どのような状態にしたいか)	売電収入を得る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
売電量	Wh	0	0	2,352	1,611	1,611

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		売電収入(税抜)	千円	目標値 実績値	0 0	0 0	62,844 91,711	62,844
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	適切な運転管理及び効率化により、目標値を上回る売電収入を得ることができた。			(目標達成度) 145.9%	(得点) 35点			
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	13,619	14,341	26,832	71,970
(事業費)	[千円]	9,690	10,355	22,803	67,941
(職員人件費)	[千円]	3,929	3,986	4,029	4,029

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	バイオマスの運転維持管理	バイオマス発電管理費 22,803千円	総額	22,803	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	22,803				
令和 7 年度	バイオマスの運転維持管理	バイオマス発電管理費 67,941千円	総額	67,941	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	67,941				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	0	ほとんどない
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	0	貢献していない
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

安定的な発電を行うため、定期的な修繕を実施する。
